

2021年7月22日、23日 北アルプス 針ノ木岳～岩小屋沢岳
メンバー；L谷内、野中

連休で剣を考えていたのですが、このところの午後の大気の不安定性を考慮し以前からのストックであった針ノ木岳～種池間の積雪期下見も兼ねた夏山花見山行に行ってきました。

蓮華岳ではコマクサの絶対量の多さに驚かされ、針ノ木以降は所々雪田が残っているおかげでシラネアオイ、キヌガサソウ、サンカヨウといった春の花から盛夏の花まで多彩で40種近くの花々に出会うことができました。

7/22 快晴～午後3時頃より1時間近くの雷雨

AM4時茅野発 - 5:20 扇沢。すでに無料駐車場は満杯で第3有料に駐車～5:30 入山口に指導員が出ておられ計画書を提出し入山 - 6:43 大沢小屋。小屋上しばらくで雪溪上に降り立ちアイゼン装着下に登る。稜線下水場で二日分の水をくみ上げ9:30 針ノ木小屋着。テンバ受付を行うと、この早い時間にもかかわらず13張り目で夕方になると30張り近くと満杯の混みようであった。テント設営後10:17 蓮華岳へ。ガラ場に差し掛かるとコマクサが出始め山頂に至るまでコマクサだらけという感じで圧巻。11:53 テンバ帰着し乾杯で水分補給を行うが気温高く熱中症がかった感じとなり小屋の軒下の日陰で涼む。15時より雷雨となり気温下がってくれ早めの夕餉の後就寝。

7/23 星空～快晴

AM2時起床 - 3:15 発 - 4:05 針ノ木岳 - 4:55 スバリ岳。上り下りとも厳しめの岩稜あり夏道は黒部側を巻いているが積雪期は？ビョウブ尾根の頭の先にくぼ地状地形あり積雪期テンバとされる所であろう。雪庇崩壊で亡くなった慶応医学部パーティーに手をあわせる - 6:37 赤沢岳。じっくりと剣の雄姿にまみえ長次郎谷は左右ともしっかり雪がついており今年は良さそうな感じ - 7:30 鳴沢岳。結構岩っぽい下降である - 8時新越山荘。あたり年のコバイケイソウをはじめとしたお花畑が出迎えてくれる - 8:50 岩小屋沢岳 - 棒小屋乗越付近は雪田残っており季節外れの春の花にも出会える - 10時種池山荘。ここまでの静けさとは打って変わっての賑わいである。小休止ののち柏原新道を下山し夕立に降られる前の12:15 扇沢駐車場帰着。